



第103号

令和5年(2023年)

5月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

令和5年度の予算を可決

行政の考え、動き、目標、効果を審議 4～9p



令和5年度の
施政方針を問う ————— 2～3p

第1回定例会
主な審議・補正予算 ————— 10～11p

ここが聞きたい! 一般質問 ————— 12～16p

常任委員会報告 ————— 17～19p

賛否一覧・一部事務組合議会報告
陳情・事務局紹介 ————— 差し込み

古賀市議会



写真: 新型コロナが収束に向かい、たくさんの笑顔が広がった「なの花まつり」。

市長が令和5年度の市政運営の基本方針や主な施策の方向性を示した

施政方針について

各派の代表が問う！

会派と所属議員

自由クラブ

(じゆつくらぶ)

松島 岩太
渡 孝一
福崎 トビオ
中野 敦史

友和 (ゆうわ)

森本 義征
清原 哲史
奴間 健司

市民クラブ

(しみんくらぶ)

古賀 誠視
村松 謙二
紙谷 由香

公明党 (こうめいとう)

井之上 豊
平木 尚子

山海会 (さんみかい)

田中 英輔
伊東 洋子

会派に属さない議員

内場 恭子
吉住 長敏
竹下 司津男
結城 弘明

自由クラブ (松島 岩太・渡 孝一・福崎 トビオ・中野 敦史)

施政方針について

議員 施政方針が長過ぎるように感じるが、これは受取手の心情を気遣うという気持ちで薄れているのではないか。

市長 そんな意識は無いが、しっかりと省みる必要がある。

議員 議会への説明がおろそかになり、議会への説明を通して市民へ説明するという原理原則がおろそかになつていないか。

市長 事前に議会への説明を行うことが基本であり、庁内でも共有を図っている。

議員 施政方針の中で、「再起動」「チルドレン・ファースト」「クロスオーバーによる共創」と政策過程の言葉はあるけれども、結果として古賀市をどうしたいのを見えてこない。故郷の将来像を語ってほしい。

市長 今年度からスタートする第5次総合計画の都市イメージ等でこの10年の将来像を示している。

議員 私が考える古賀市の最大の課題は、自治会加入者の減少、自治会からの離脱、なり手不足等の自治会の現状がある。

友和 (森本 義征・清原 哲史・奴間 健司)

AIオンデマンドバスの今後の展開は

議員 AIオンデマンドバスを多くの市民が利用できるように計画を進めていくための、令和5年度の展開は。

市長 乗降実績やご要望などのデータの蓄積を行い、「地域公共交通計画」の策定に包含させて、地域の皆さんと改善点を共有しながら、よりよいサービスをめざしていく。

議員 「AIオンデマンドバス当面方針」のようなものを、示されれば、市民とAIオンデマンドバスの、今後の展開を共有できるのではないかと思う

市長 今すぐ具体的な取り組みが必要だと考えるが、いかがか。重要かつ課題解決が極めて困難なテーマだと認識している。具体的な取り組みは今のところ無いが検討していきたい。

議員 古賀市の将来像を明確に指し示し「未来への責任」だけでなく「歴史への責任」も強く意識して市政運営に臨むことを強く求める。

議員 ゼロカーボンシティ宣言をされ、約1年経過したが、令和5年度はどこに力点を置いているのか。

市長 企業が抱える課題の分析と効果的な支援策の検討を行い、公民が連携して脱炭素社会実現に向けて進んでいくための、プラットフォームの構築に力を入れていく。

議員 他に、チルドレン・ファーストのさらなる強化、ふるさと応援寄附事業の強化、上下水道料金の改定、オンライン化、デジタル化、DX等の推進、消防団分団の維持等について。

議員 JR古賀駅東口整備については、私共も市長と同じ一丁目一番地であるので、今後の進捗状況を注視していく。

市民クラブ

(古賀 誠視・村松 謙一・紙谷 由香)

18歳までの医療費の無償化のスケジュールは

議員 医療費や学校給食の無償化など、子育ての総合的な支援システムを実現とあるが。

市長 政府が子育て支援の仕組みを構築し、それに加えて、自治体が行えることを見だし実行していくことが大切だ。

議員 18歳までの医療費の無償化のスケジュールは。

市長 本年10月から3歳から就学前まで無償化を行い、小・中・高までは段階的に進めていく。

議員 筵内区や小竹区の公共交通の改善策は。

市長 筵内区や小竹区はアンケート結果を基に、改善策を地域の皆さんとで考えていく。

議員 JR千鳥駅東口工事のスケジュールは。

市長 浜山1号線道路改良工事は、令和5年度に工事着手し、年度内の完了を予定。ロータリー部は文化財が発見され、発掘調査後、令和6年度内に完了予定。

議員 小中学校の水泳授業が民間委託になった背景は。

公明党 (井之上 豊・平木 尚子)

市長の施政方針について

議員 公共交通の今後の対応は。

市長 地域にとつて望ましいネットワークの姿のため、地域での会議で課題に対する改善策や、実証実験の提案など行う。

議員 超高齢社会の課題と対応は。

市長 住み慣れた地域で共に支え合い、安心して暮らせるまちづくりに努めていく。

議員 防災士と地域の関わりは。

市長 今後は補助金を利用せず資格を取得された防災士についても、地域との関わりを持てるような取り組みを考えていく。

議員 デジタル化はどのように進めるか。

市長 市公式LINE電子申請サービス、スマホおたすけ窓口事業を行い、人に優しいデジタル化に取り組む。

議員 屋内施設でインストラクターから水泳指導を受け、泳力の向上や教員の準備作業の省略、維持管理費の削減につながる。

山海会 (田中英輔・伊東 洋子)

少子化・人口減少への対応は

議員 少子化・人口減少が進んでおり、その背景には不安定な雇用・低い収入などがある。こうした点への対応はどう考えるか。

市長 雇用環境整備、仕事と子育てが両立できる環境整備などが必要と考える。

議員 子どもの育ち、学びの支えに、国の責任で中学校でも少人数

学級を推進するよう求めるべきではないか。

市長 市で対応を行っているが、国へ実現を強く要望する。

議員 平和を希求する意識を醸成するとしているが、若い世代への対応は。

市長 高校生と共同制作による展示などを通し、平和の継承に取り組む。

内場 恭子

公共交通ネットワークの強化

議員 AIオンデマンドバスの評価は。今、困っている人や公共交通の充実を望む市民への改善策は。

市長 利用者の登録者の伸びが低い。市の公共交通の課題は何か。

議員 超高齢化で移動の困難が課題。ニーズに答えられない点も。西鉄バスを基幹交通の軸にする。

議員 利用者の声を聴き、困っている市民のニーズに答えてほしい。

吉住 長敏

ぴかーの低山歩きコースの整備を

議員 低山を歩く番組で市毛良枝さんが山は百科事典と言われていた。山に入ろうムードを。

市長 私も体験の良さを広げたい。老若男女が行ってみたい。コースを持続的に整備することが必要と思うが。

議員 ワンヘルスでも自然環境と親しむ視点が重要。その視点で山里を歩き、考えていきたい。

令和5年度の予算を審議

前年度比5億2,671万円の増

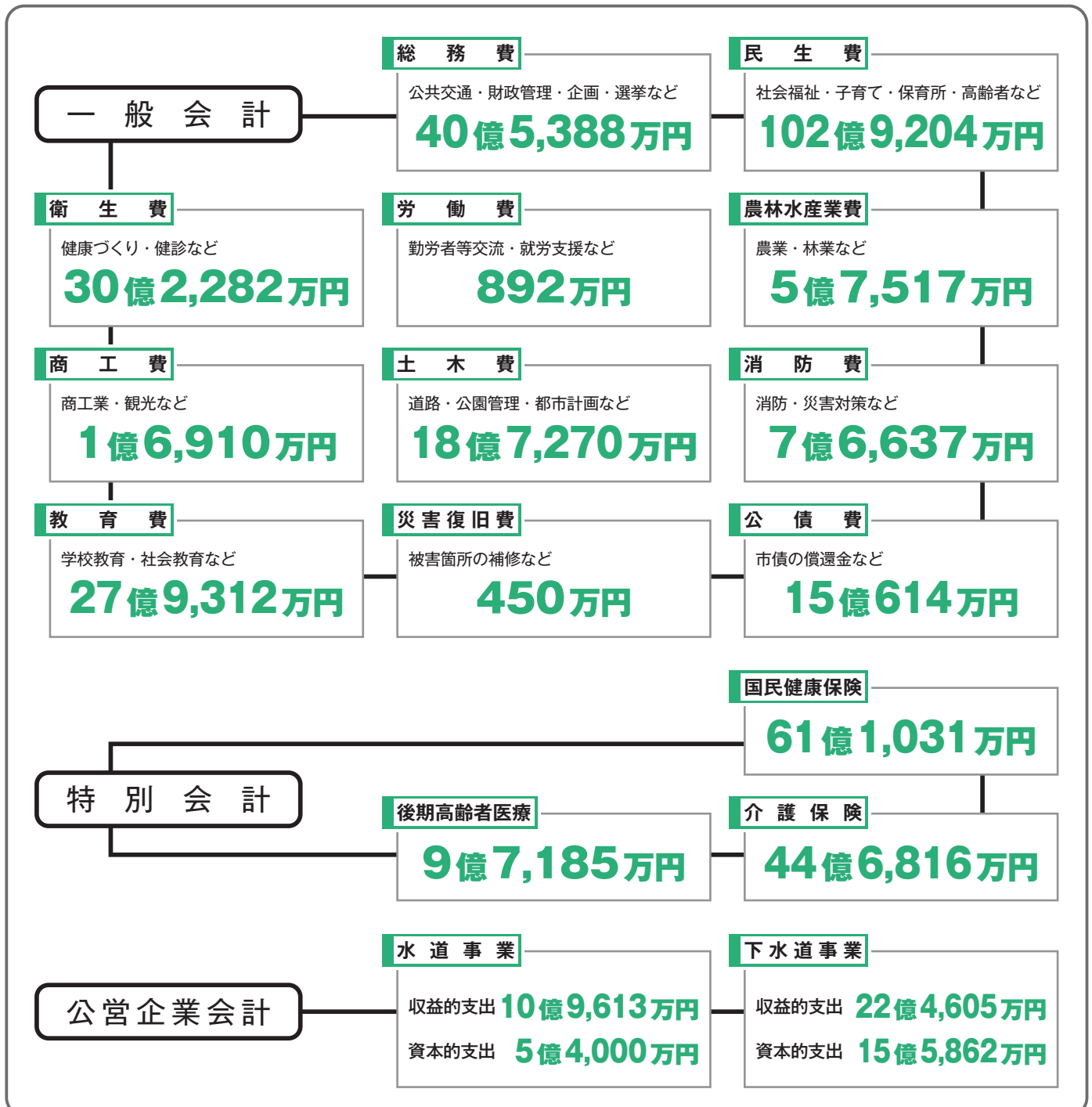
一般会計予算
過去最高額

254億212万円

予算審査特別委員会（3月8日～20日の間の5日間）を設置し、審査しました。
主な歳出の事業内容と、資料要求に基づいた回答を報告します。

※4～7Pの文中の金額は全て千円以下四捨五入（質問に対する回答は除く）

令和5年度
予算



（金額については、端数処理の関係上、合計が一致しない場合があります）

ＡＩオンデマンドバス運行委託

質問

利便性向上・効率的な交通サービスであるＡＩオンデマンドバス（のるーと古賀）の運行経費、運賃収入、利用者数は。

回答

運行経費は平日３０４７万円、土日祝６７６万円。
運賃収入は平日６５６万円、土日祝は６３万円。
利用者数は延べ２万６４０人。



担当課：経営戦略課

3,004万円

商工業活性化推進事業費

質問

市内事業者の販路拡大を支援する「ふるさと応援寄附制度」について、見込まれるふるさと納税額、実質的な納税額は。

回答

納税見込額は１０億円。歳出見込額は６億９３３０万円、実質的な納税額は３億６６７万円を見込んでいる。

6億9,330万円

担当課：商工政策課

妊産婦等タクシー利用促進事業補助金

質問

積算内訳、スケジュール、効果は。

回答

妊産婦へのタクシーチケット（２万円分）を５６０人へ、多胎児世帯へのタクシーチケット（２万円）を２０世帯へ。令和５年４月以降、随時対象者へ交付。効果としては、市内タクシー事業者の業務継続、妊産婦・多胎児世帯の健診等における移動の支援が期待される。

担当課：経営戦略課

871万円

ふるさと応援寄附返礼品

質問

返礼品の数、主な商品は。

回答

返礼品は約５００種類。主な返礼品は、辛子明太子、あらびきウインナー、博多あまおう、米びつ、いちご狩りチケットなど。



担当課：商工政策課

3億円

路線バス運行補助金

質問

西鉄バス古賀市内線の補助金が昨年度より増額になった理由、今後の見通し、運賃の変更は。

回答

１００円バスの利用見込みは。

西鉄バスから補助金算定方法を、これまでの西鉄バス宗像の単価から西鉄バス本社の単価に見直すよう申し入れを受け、令和５年度から北部九州プロックの運行単価を補助基準額として採用し、２年をかけた段階的に補助額を増額することで合意したため。

令和６年度以降は激変緩和のための経過措置が終了することに伴い、補助額の増額が見込まれる。
運賃は西鉄バス本社が決めている。
１００円バスの利用は新型コロナウイルス感染症対策の取扱いの見直し等に伴い、緩やかな増加を見込んでいる。



担当課：経営戦略課

6,665万円

委託料

質問

古賀駅周辺整備事業費の各委託内容、スケジュールは。

回答

「立地適正化計画策定委託」では初年度に都市計画基礎調査など各種データ等により、現状や将来見通しを分析・把握し、理想的な都市像を検討することになっており、令和5年5月発注予定。古賀駅東口周辺地区の都市計画道路等において、道路整備の評価付け、今後の工程検討に活用する「古賀駅東口周辺道路計画検討委託」は令和5年7月発注予定。

西口の「古賀駅西口周辺駅前広場等検討委託」では、これまでの交通量調査などのデータを基に社会実験を実施し、駅前広場の検討や自動車交通の見直しを行うもので、「古賀駅周辺空間分析等委託」と共に現在履行期間中の「令和4年度JR古賀駅西口周辺整備方針等検討業務委託」の進捗状況を踏まえ順次発注する予定。



担当課：都市整備課

4,486万円

活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金

質問

補助事業の内容・スケジュールは。

回答

パイプハウスおよび付帯施設の設置、常温煙霧機の購入。スケジュールは8月頃に補助金交付申請、8～2月事業実施、3月頃実績報告の予定。

担当課：農林振興課

4,631万円

自治会統合型交付金

質問

交付事業の種目・内訳は。

回答

組織運営事務230万円(46区×5万円)、地域別分別収集336万円(11カ所×3万円)、自治会内での清掃活動138万円(46区×3万円)、防犯灯設置・維持管理360万円(4500基×800円)、花づくり活動150万円(30区×5万円)、分館活動368万円(46区×8万円)、分館教養学級100万円(25学級×4万円)、巡回防犯活動46万円(46区×1万円)。

担当課：まちづくり推進課

1,728万円

玄界環境組合負担金(経常費)

質問

負担金積算の内訳は。

回答

玄界環境組合同規約第13条の規定に基づき、構成市町で負担額を案分。本部経費分賦金1855万円、古賀清掃工場経費分賦金4億7822万円、工場再編推進室経費分賦金877万円。



担当課：財政課・環境課

5億554万円

保険給付費

質問

被保険者数と一人当たり保険給付費見込み、令和4年度に比べ減額となる理由は。

回答

平均被保険者数は1万8500人。1人当たりの保険給付費見込みは約40万円。減額の理由は、被保険者数の減少に伴い、保険給付費が減少することが見込まれるため。

担当課：市民国保課

43億7,241万円

幼児教育・保育提供事業費

質問

保育士の処遇改善の内容は。

回答

保育士の業務負担を軽減するための補助（保育補助者雇上強化事業補助金）、保育士用の宿舍の借り上げに必要な費用の一部を補助（保育士宿舍借り上げ支援事業補助金）、ICT化を活用した業務システムの導入費用の一部を補助（保育所等におけるICT化推進事業補助金）。

担当課：子育て支援課

21億7,136万円

子育て支援医療事業費

質問

子ども医療費無償化の拡大による対象者数、見込件数、増額の内訳は。

回答

対象者数は2129人、件数は1万5883件を見込んでいる。増額の内訳は印刷製本費1万1000円、通信運搬費16万円、システム改修委託72万円、医療扶助1213万円。

担当課：市民国保課

2億2,021万円

教育費

質問

令和5年度の小・中学校への人的配置は。

回答

部活動外部指導員12人、地域部活動指導員3人、ALT3人、ICT支援員4人、学習支援アシスタント2254人（小学校）・1106人（中学校）、特別支援教育支援員28人、日本語指導講師3人（小学校）・1人（中学校）、スクールソーシャルワーカー通常対応2人、スクールカウンセラー通常対応1人・緊急対応1人、ヤングアドバイザー2人、心の教室相談員8人（小学校）・3人（中学校）、あすなる教室指導員等4人、ひまわり教室主任相談員3人、通級指導教室指導教員3人、学校図書館司書8人（小学校）・3人（中学校）、小学校教育支援員11人、少人数学級対応講師4人（小学校）・5人（中学校）。



担当課：学校教育課・人事秘書課

27億9,313万円

小・中学生水泳授業委託

質問

委託するメリット・デメリットは。

回答

メリットは、専門のインストラクターの指導による泳力の向上。天候に左右されない計画的な水泳授業の実施。学校プール施設改修費、水道代、薬剤費、ろ過機の保守・修繕費が不要。水質、危険箇所の点検、掃除などの教員の負担軽減等。デメリットは、バスによる移動のため、移動時間が必要。



担当課：学校教育課

1,985万円

古賀東小学校トイレ改修工事

質問

工事内容は。

回答

校舎8カ所・体育館1カ所のトイレを大便器の洋式化、床の乾式化・フラット化、多目的トイレの再整備、自動水栓、人感センサー付LED照明への更新工事。



担当課：教育総務課

1億1,165万円

奴間 健司

問 路線バス補助金増額 合意した単価はいくらか

答 北部九州ブロック単価 確約はしていない

議員 路線バス運行補助金6664万7千円は2022年度予算と比べて約2000万円の増額。しかも西鉄側と2年かけて段階的に増額することで合意した。合意の内容は何か。

市長 事前に副市長や担当と話し、私の考えも伝え、それを踏まえて副市長が協議した。

議員 8600万円程度とセットで補助金を認めるのは難しい。市の考えに至る経過を確認できる公文書はあるか。議会に投げかけるべきだったのではないか。

市長 必要な公文書は記録保存している。議会の提起も踏まえた上で責任もって交渉してきた。

市長 路線バスの運行が西鉄バス宗像から本社に移管されて5年が経過した時点で、実情に見合った見直しの要望を受けた。令和2年度に協議を行い、2年かけて実情に見合う補助額に近づけることで合意した。補助金にかかる積算根拠は適正であり、合理的な理由のない値引き要請は困難であり合意した。

議員 合意した単価はいくらなのか。

市長 北部九州ブロック単価(約8600万円)で考えていきたいということだが金額の確約はできないと申し添えた。

議員 副市長が令和4年10月12日に西鉄と協議したが市長は一

増加を続ける路線バス運行補助金	
2009年度	2,656万円 (赤字補填を開始)
2022年度	4,710万3千円
2023年度予算	6,664万7千円 (2年かけて増額する合意の1年目)
2024年度見込み	北部九州ブロック単価(約8,620万円)をベースとして実情に見合った額とする)

予算審査特別委員会 委員長 井之上 豊

令和5年度予算審議を終えて

田辺市政2期目のスタートの予算の提案に対し、副市長、各部課長から各予算案の概要説明を受け、各委員からの資料要求に基づき資料を参考に、5日間の審査を行いました。

各予算案での主な質疑として、一般会計予算では、公共交通維持・確保事業費でAIオンデマンドバス、ユニバーサルデザインタクシー、路線バス運行補助金等。公共交通利便増進事業費で妊婦等タクシー利用促進事業補助金。総合政策推進事務費で、SNS情報発信等サービス使用料。インキュベーション促進事業費。住民情報管理事務費で、証明書自動交付機。

幼児教育・保育提供事業費。循環型社会形成推進事業費で、資源ごみ回収等委託。職業紹介事業費。千鳥駅東口周辺整備事業費。道路改良事業費。公園管理事業費で、草刈・芝刈等委託、草・剪定枝リサイクル処理委託。教育費で、修学支援事業費の高等学校等入学支援金。学力・体力向上推進事業費で、部活動外部・地域指導員謝礼。

学校運営事業費で、小・中学生の水泳授業委託。学校施設管理事業費で、古賀東中学校校舎大規模改造工事、古賀東小学校トイレ改修工事の質疑がありました。

委員から、公共交通維持・確保事業費の路線バス運行補助金についての市長質疑がありました。

一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算は全て賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。



反対討論 × 賛成討論

一般会計

賛成

奴間 健司

●賛成理由 社会保障経費増加への対応、古賀東中学校大規模改造、就学前子ども医療費無償化、スクールカウンセラー増員、古賀東小学校トイレ洋式化など。

●指摘事項 予算案の庁議での審議、子ども特定健診による予防の徹底、路線バス補助金の適切な抑制策、快生館の経営主体形成、水泳授業民間委託の慎重検証、予算案提案理由説明の改善。

賛成

吉住 長敏

10年前、中学生でも分かる予算説明資料にしてほしいと求めた。年々改善を積み重ねられ、一般市民にもストリートに理解しやすい説明書に仕上がっている。関係各課の気持ちが届き、予算審査で合点がいくものだった。今後、末尾に職員氏名を明記する一級公文書へ発展させてほしい。

賛成

伊東 洋子

スクールソーシャルワーカーの増員で、課題がある家庭の支援強化。就学援助費の支給基準を広げ、受給世帯増に。医療費無償化を就学前まで拡大。妊娠・出産応援ギフト支給などチルドレン・ファーストの強化に期待。市公式LINEで市民に情報が届くことを期待。支援が必要な家庭にごみ出しと見守りを行うふれあい収集が実現。

反対

内場 恭子

西鉄バス赤字補填の運行補助は6664万円に。さらに2年間で段階的に引き上げる予定。バス便増もなく市民の期待に届いていない。AIオンデマンドバス運行は、利用可能な範囲や乗車ポイントを増やす計画もない。子どもの医療費18歳まで無償化拡大や教育費の負担軽減や学校給食の無償化もできていない。

公営企業会計

水道事業

反対

内場 恭子

国保税の負担が大きく、短期証・資格証の発行も問題。出産育児一時金を50万円に増額するが、国は財源を後期高齢者医療保険の保険料からとし、2年後には後期高齢者医療保険は2倍になる。

賛成

吉住 長敏

30年前、自己水源確保を兼ねた清瀧ダム建設を計画したが2005年に中止された。それ以来、自己水源拡充はあり得ない。旧唐津街道は広域受水による幸運な水の道になったと考えるべきと思う。

反対

内場 恭子

安心の老後を過ごすための介護保険制度だが、保険料の負担は多く、介護度の認定も十分とはいえない。利用したい施設への入所も、まだ待機者が多く、十分な期待に届いていない。

反対

内場 恭子

水の約85%は福岡地区水道企業団と北九州市水道用と北九州市水道用と北九州市水道用の水は約15%と他に依存している状態。災害時の飲料水確保のため市浄水場の存続を求め。また、水道料金引き下げもできていない。

下水道事業

反対

内場 恭子

後期高齢者医療保険料の負担は、年金生活者が多い後期高齢者には大きな負担であり、昨年10月に開始された、一定以上の所得がある人についての医療費の窓口2割負担は問題。

反対

内場 恭子

古賀市は自然豊かな山や海、緑に恵まれているが、住宅開発が進む地域で、生活排水が川に流れ込み、問題だ。生活・自然環境を守るために早急な下水道の整備が望まれるが不十分だ。

3号
議案

古賀市附属機関の設置等に関する 条例の一部改正

地域で中学生の部活動に代わり得る活動の機会を確保できる体制を整えるための計画等について、必要な事項を審議する附属機関を設置するため。

古賀市立中学校の部活動を地域移行させていくための計画などを検討する委員会を設置する。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

主な
審議

第1回
定例会
(2月22日～3月23日)

4号
議案

古賀市国民健康保険条例の一部 改正

健康保険法施行令等の一部が改正されたことにより、出産育児一時金を増額。

※産科医療補償制度の保険料（掛金）

1万2千円を合わせて

42万円→50万円へ。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

10号
議案

古賀市附属機関の設置等に関する 条例の一部改正

JR古賀駅周辺における基盤整備およびその他の開発を一体的に進めることについて、必要な事項を審議等するため、附属機関を設置しようとするもの。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

11号
議案

古賀市介護予防支援センター条例を廃止する条例の制定

古賀市介護予防支援センター「りん」での介護予防事業終了に伴い、古賀市介護予防支援センターを廃止するため、条例を廃止するもの。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成多数
可決

25号
議案

古賀市議会の個人情報の保護に関する 条例の制定

デジタル社会の形成を図るための個人情報の保護に関する法律の一部改正において、市議会が法の対象外となることに伴い、現在の個人情報保護制度から後退しないように、新たに市議会独自の条例を制定するもの。

本会議
賛成全員
可決

5号
議案

古賀市子ども医療費の支給に関する 条例の一部改正

子ども医療費の自己負担分を全額支給する対象を就学前までの子どもに拡大する。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

26号
議案

古賀市議会の議決すべき事件を 定める条例の制定

古賀市議会の議決すべき事件を定める条例を制定するもの。

付託▷ 総務委員会 賛成少数 否決

本会議
賛成少数
否決

23号
議案

副市長の選任

野村哲也氏

24号
議案

古賀市教育委員会委員の任命

松本正敏氏

諮問
1号

人権擁護委員候補者の推薦

ひすい 轡水俊英氏

主な
審議・
補正
予算

18号
議案

小学校のトイレ洋式化や、ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の増に対応する経費等 一般会計補正予算 6億4,762万9千円の追加

補正予算
(3月7日)

第1回
定例会

小学校トイレの洋式化に係る トイレ改修工事費等の追加

小学校トイレの衛生面・快適性の向上を図るための取り組み。古賀西小学校と花鶴小学校のトイレの洋式化・みんなのトイレを整備する。

(2億1,241万9千円)

ふるさと納税ポータルサイト 運営委託料等の追加

ふるさと応援寄附金の増に対応するための取り組み。ふるさと納税ポータルサイト運営委託料やふるさと応援寄附金返礼品購入費等を増額する。

(4,285万8千円)

本会議
賛成多数
可決

19号
議案

22号
議案

令和4年度 特別会計・公営企業会計補正予算

国民健康保険

386万5千円の追加

災害臨時特例補助金返還金の追加
特別調整交付金返還金の追加

後期高齢者医療

1,934万円の追加

保険料等負担金の増

水道事業

(収益的支出) 659万円の減

(資本的支出) 425万円の減

下水道事業

(収益的支出) 1,172万8千円の減

(資本的収入) 1,200万円の減

(資本的支出) 5,000万円の減

本会議
賛成全員
可決

29号
議案

国の制度に沿った物価高騰に対する支援策 一般会計補正予算 3億2,040万9千円の追加

主な審議

第1回
臨時会
(4月11日)

住民税非課税世帯等の支援のための緊急支援給付金の追加

住民税非課税世帯および家計急変世帯に1世帯当たり3万円を支給。

(2億1,763万6千円)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の追加

児童扶養手当受給世帯および住民税非課税の子育て世帯等に児童1人当たり5万円を支給。

(9,936万5千円)

本会議
賛成全員
可決

主な審議・補正予算

ここが聞きたい！

①チルドレン・ファーストのさらなる強化を ②安心安全なみんなが主役の古賀市に	内場 恭子
①高齢者が安心して住み続けられるまちに ②これからの古賀市の子育て支援について	紙谷 由香
①少子化対策の更なる対応を ②働きに応える評価を	田中 英輔
①市政情報の開示拡充 ②こがんと遺産の創設 ③一般質問の反映	吉住 長敏
古賀市を安心して子どもを産み育てられるまちへ	伊東 洋子
千鳥ヶ池公園樹木間伐の問題点 緑の基本計画策定が必要だ	奴間 健司
西口エリア再生事業の成果について	福崎 トビオ
すべての人が快適で安心して暮らせるまちへ	平木 尚子
使いやすい公共交通で市民の外出促進を	村松 謙二

一般質問

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます



内場 恭子

一般質問

子どもや市民の声を市の政策にどう反映するか

答 各分野で子どもの意見を反映する取組を

議員 子ども政策最優先課題は何か。

市長 妊娠・出産・乳幼児期の切れ目
ない伴走型支援の強化。

議員 3歳から就学前までの子ども医療費無償化を実施するが、18歳までの子ども医療費無償化はいつになるか。市長の任期中に実現するのか。

市長 18歳までの無償化は、段階的に実施する方向で検討。任期中に実現できるように検討する。

議員 学校給食の無償化の優先順位は。義務教育の一環という観点から、国が実施するものと認識。

市長 国が実施するものと認識。保護者の経済的負担軽減につながるかと理解するが、財政運営を踏まえ、責任を果たしたい。

議員 少人数学級の実施、特別支援学級の充実、不登校児童・生徒への支援のさらなる強化方法は何か。

市長 市独自に小学校2年生から中学校3年生までの「原則35人以下学級」を実施。

議員 防犯カメラや街路灯の整備で痴漢などの犯罪被害の対策を。

市長 防犯カメラは必要がある所に設置し、犯罪や事故の対策を強化。

議員 プライバシー保護を考慮する。災害時の避難対策に今すぐ西鉄宮地岳線跡地のフェンス撤去を。

市長 道路が建設されれば、車の流入量が増え、周辺住民の心配が増える。子どもの安全や静かな生活環境を守ってほしいという市民の願いは「わがまま」なのか。

議員 わがままではない。市民の声を聴き、寄り添い「住民が主人公のまち」を切に願う。

市長 市民の声を聴き、寄り添い「住民が主人公のまち」を切に願う。

西小の通学路につながる道





紙谷 由香
(市民クラブ)

高齢者が安心して住み続けられるまちに

答 医療介護資源の見える化に努める

議員 古賀市の在宅診療の現状と今後の予測は。

市長 本市を含む1市7町で構成されている粕屋保健医療圏内の在宅医療資源については、診療所等の医療機関は40カ所、歯科診療は26カ所、薬局は104カ所、訪問看護ステーションは28カ所であり、おおむね横ばいで推移している。高齢化の進展に伴い、在宅医療を支える社会資源が不足することが予測される。

議員 粕屋圏内での古賀市の在宅診療の現状把握はどのようにしているのか。

市長 粕屋保健福祉事務所内に設置されている「粕屋地域在宅センター」では、在宅医療体制の整備や不安を抱える患者や家族の相談、在宅医療に関する普及啓発、医療機関等との連携推進を図られており、古賀市においても同様に「粕屋医師会」に委託

し、実施している。

議員 古賀市においてACP(人生会議)の現状をどう考えているのか。

市長 本市としても、誰もが人生の最期まで自分らしく生きるための話し合いを行うことは大切な取り組みであると認識している。

議員 今後、どのように進めていくのか。

市長 住民講座を行ったり、市広報紙での特集を組み込んだり、引き続き周知啓発に努めていく。

その他の質問
これからの古賀市の子育て支援について

在宅診療スタッフ



田中 英輔
(山海会)

少子化対策に教育支援・雇用対策を

答 保護者負担の軽減・雇用促進に取り組む

議員 2022年の市の出生状況は。出生数は425人で前年、前々年を下回った。

市長 少子化対策として女性の子育て負担の軽減は重要な課題である。

議員 子育て支援サービスの充実・強化はどう進めるか。

市長 社会で支え合うため、財源をはじめとした対応を政府に働きかけるとともに、子ども医療費の無償化を就学前まで拡大するなど、子育て支援に取り組む。

議員 ここ数年待機児童が発生する他、保育士確保は進んでいない。力を入れるべきでは。

市長 保育士確保は重要だが進んでいない。指摘の資格所有者の復帰を促す対策など努力したい。

議員 少子化の背景に不安定な雇用や低い収入・高い教育費負担などがある。雇用対策・負担軽減対策が必要では。

市長 雇用の安定・非正規雇用対策は

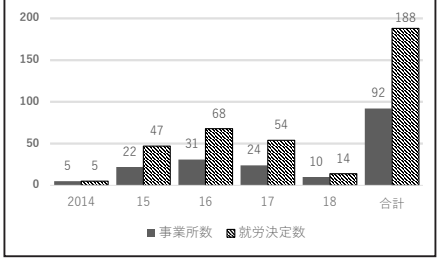
重要と認識しており、雇用促進に取り組む。

これまでの保護者負担の軽減対策と合わせ、就学援助支給基準の引き下げ、給食費値上げ抑制など迅速に対応する。

議員 市の無料職業紹介所の正規雇用は2割ほどに低下している。これまで行った正規雇用促進事業では若者の雇用が促進されている。こうした成果を生かしてはどうか。

市長 これまで行った事業の成果を生かすことは重要と考える。

ふるさと就労事業での正規雇用の状況





吉住 長敏

市情報に(原則)職員氏名の明記を

答 普遍的ルールができるか検討

議員 産直コスモス館に行くか。

市長 行く。

議員 誰が生産者かまで見ないか。

市長 どなたかなと、見る。

議員 それが当たり前の消費者だ。新聞

記事も多くが署名入り。所見を。

市長 誰が責任もって取材を報じている

のか信頼性を高めるのに重要だ。

議員 信頼、新鮮、誠実さの面から古

賀市が発信する情報はいつ、誰が

発信したか書くべき。いかがか。

市長 今、頭の中を巡らす、浮かぶ

ものもある。普遍ルールができ

たら検討する順序で受け止める。

一般質問の反映を

議員 一般質問のQ&Aの進捗管理を

している市側の部署はあるか。

市長 網羅的に管理している所はない。

議員 膨大ではあるが無限ではない。

AIの時代でデータベースがで

きると直感した。いかがか。

市長 デジタルの活用で簡便になし得

るかの研究はしていなかった。

議員 2017年に質問した下水道の

接続促進が5、6年後に実現し

た。そんな経緯を知る権利があ

り、市も把握しておくべきでは。

市長 提案の趣旨は理解した。把握は

行政内部でいろいろ考えてみる。

議員 過去の一般質問は膨大だが、行政

運営に生かす歴史的史料でもあ

るといふ観点からお蔵入りでなく

生かしていくことを求めたい。

こがんと遺産の創設を

市長 堅苦しいものでなく古賀に誇れ

るものの制度化はいい。

これ「こがんと遺産」候補かも



一般質問



伊東 洋子
(山海会)

安心して子どもを産み育てられるまちへ

答 子どもと子育ての支援に取り組む

議員 安心して産み育てられない社会

の要因をどう考えるか。

市長 経済的な不安定さ、仕事と子育

ての両立の難しさ、子育てや教

育にかかる費用負担の重さなど

が不安につながっている。

議員 子育て世帯の経済的負担軽減に

どう取り組むか。

市長 市は、令和5年度、子ども医療

費の無償化を就学前の子どもま

で拡大。義務教育にかかる費用

の無償化については本来、国が

保障すべき。

議員 産後、体調や育児に不安がある

母親のケアは。

市長 産後ケア事業や産前・産後ヘル

パー事業を実施し、心身のケア

や育児をサポートしている。

議員 家族のケアをするヤングケア

ラーの周知、啓発、支援体制は

進んでいるか。

市長 独自に作成したポスターの掲示

や研修会などで広く周知・啓発。

「子育て世帯日常生活支援事業」

でヘルパーを派遣し、育児・家

事支援を実施していく。

議員 子育てを孤立させないためにも

居場所づくりの充実にどう取り

組むか。

市長 「でんでんむし」「ミニ二つどの

広場」、地域の公民館での「子育

てサロン」などさまざまな出会い

や交流できる場を実施している。

議員 子育てと仕事を両立するため、

家事も育児も母親の役割という

無意識の思い込みを変えるには。

市長 ジェンダー平等意識への理解が

進むよう、周知に取り組む。

親子の居場所をもっと広げたい





奴問 健司
(友和)

千鳥ヶ池樹木伐採を機に緑の基本計画策定を

答 議員の提案は参考にさせていただく

議員 千鳥ヶ池公園見晴らしの丘樹木

間伐の目的は何か。総量は。

市長 開園から約35年が経過し、樹木

が繁茂しすぎたことから、公園管理の二環として実施した。搬出した樹木は139本、99トン。

議員 どのように検討したか。

市長 眺望の障害程度、倒木の危険性、園路の見通し等を念頭に福岡県広域森林組合に技術的意見を求め検討した。

議員 市民説明や意見聴取は行ったか。

市長 通常業務の一環であり、行っていない。公園利用者から見通しがきくようにして欲しい等の要望、苦情を反映させた。見晴らしがよくなり安心して利用できるという声をいただいた。

議員 1万年前は入江であった千鳥ヶ

池とその周辺の緑を適切に管理し、守ることは大事なことです。手入れをしておかなかったことは反省し教訓化すべきだ。

都市整備課長 反省点と認識している。この時期に実施できた条件もある。

の時期に実施できた条件もある。

市長 教訓を次につなげていくことは

大事だ。ただ、市民の要望を反映して取り組んだ意義もある。

議員 緑の現況把握、地球温暖化対策

等をふまえた「緑の基本計画」策定が必要ではないか。福津市も新宮町も策定している。

市長 近隣自治体がどうかは関係なく

議員の提案は参考にさせていただく。

議員 市長と千鳥ヶ池を散策しながら

未来を語りませんか。

市長 ぜひやらせていただきたい。

今回の樹木伐採はやりすぎではなかったか



福崎 トビオ
(自由クラブ)

西口エリア再生事業の成果について

答 一体的なにぎわいが創出され始めた

議員 本事業の委託総額は。

商工政策課長 総額4147万円。

議員 住民説明会の参加人数は。

商工政策課長 市民向けは20名、事業者

向けは平均16人、エリア以外では平均34人。

議員 空き店舗などの現地調査は。

商工政策課長 空き店舗は計8店舗を確

認、3カ所を再生。

議員 予算に見合った効果か。

市長 周りを巻き込んでいく中心とな

る人材を生んだのが大きな成果。

議員 まちづくり団体の拠点形成にか

けた金額は。

商工政策課長 総額4691万6412円。

議員 市長は「これが最後のチャンス」

と言われたが、支援委託費は4000万円を超え、拠点形成費も4000万円を超えているこの2つの事業の成果はいつ頃出てくるのか。

市長 まずはこの10年の間にしっかりと西口エリアのにぎわい、本質

西口エリア再生事業の成果(のスタート)



的再生をしたからこそ生まれてくる姿を10年後の市民が「この事業をあの3年間でやったんだ」という実感を持つことが求められていると考えている。

議員 実現するためには地元、商店街、

商工会、これまでの関係者、このまちに根づいている人たちとの連携が大切。私も西口エリアで育てていただいている。私と同じように、まちづくり団体も西口エリアで育てていただけることを心から願う。



平木 尚子
(公明党)

すべての人が快適で安心して暮らせるまちへ

答 今日提案も含めて取り組んでいく

議員 子育てにおいて父親、祖父母、

地域の役割とこれからの強化は。

市長 就労や社会的活動を男女ともに

担う社会に向かう中で、家庭に

おける育児・家事への父親の参

画がこれまで以上に求められ

る。加えて祖父母、そして地域

のサポートがあれば子育てしや

すい環境につながっていく。今

の世代の子育ての価値観などを

祖父母となる世代の皆さんと共

有することは意義がある。本市

では、子育て支援事業に男性の

参加を促進するとともに、ファ

ミリーサポート事業、地域の公

民館で開催されている子育てサ

ロンを紹介するなど、みんな

子育てをしやすい環境づくりや

議員 意識の醸成に努める。

課題を抱え、支援が必要な子ど

もたち、教師などの教育環境の

市長 整備について。

個々の障がい状況に応じ、適

切な人的配置とともに教室や備

品の確保を行い、特別支援教

育の充実を今後も図っていく。

議員 安心して活動できる市民の移動

手段について。

市長 今後、地域特性やニーズに合っ

た改善や提案を行っていく。ま

た、地域の拠点と生活サービ

ス圏をつなぐ公共交通ネットワー

議員 クの構築に取り組む。

誰もが安心してデジタル化に移

市長 行できるには。

スマホおたすけ窓口事業などに

より、引き続き取り組む。

地域での子育てサロン



村松 謙二
(市民クラブ)

計画書作りが目的になっていないか

答 目的を達成するために作っている

議員 かつてこの場で「長年、公共交

通問題を解決できない要因は何

か」と問うた時「計画がなかった

こと」と答弁された。令和2年

6月に地域公共交通網形成計画

を作ったにもかかわらず、令和

5年度は新たに地域公共交通計

画を作るとあるがなぜか。

経営戦略課長 この計画を作ることが努

力義務になった。理由は行政主

導ではなく、地域主導で計画を

作っていくことが明記されたた

議員 めだ。

これまでの地域公共交通網形成

計画は何だったのか。時間とお

金をかけて作ったのに。これか

市長 ら作る計画とどう違うのか。

地域公共交通網形成計画は、こ

れから作る地域公共交通計画の

下地土台になっていく。作るこ

とが努力義務になり、作ってな

いと国庫補助制度が取れる取れ

ないに関わってくるので、自治

体として作るのが責務と考える。

議員 さまざまな個別計画を作って行

政運営を行っているが、計画を作

ることが目的になっていないか。

市長 目的を達成するために計画を作

ると認識しており、担当が異動

等で変わっても組織としてその

目的に基づいてマネジメントす

議員 る。計画とはそういうものだ。

長きにわたり「使いやすいバス

を走らせて」と言った高齢者を

何人も知っている。市長は就任

後4年を過ぎてきているが、もっと

スピード感をもって公共交通の

問題解決につなげるべきだ。

古賀市地域公共交通網形成計画



総務

委員会

1月24日

委員長 吉住 長敏
清原 哲史 井之上 豊
副委員長 田中 英輔
村松 謙一

基金の預入先は

問 基金の預入先について、その根拠法令は。

答 地方自治法および地方財政法において、確実かつ効率的な方法で預け入れを行わなければならないと規定。元本割れがないものということで、定期預金や安全性の高い債券を購入している。

問 市財政を良くしようと思えば、高利な金融機関を選択すべきと思うが。

答 低利な金融機関を預入先としていたのは、金融機関が破綻した場合のペイオフで1000万円以上の預金については保護されないことになっており、その対策として市の借り入れと相殺できるよう借入額と同額を預け入れている。

財政課

多文化共生相談窓口の相談について

問 相談体制と相談方法は。

答 相談体制は、担当係の職員2人が8時30分から17時まで相談を受け付けている。対応言語は、英語や、やさしい日本語、ポケトークなどで対応している。相談方法としては、窓口・学校等への訪問・地域へ赴くなどの対面、電話、その他が挙げられる。

問 生活に合わせた相談窓口の運用を考えられないか。

答 相談方法のうちその他として、フェイスブック等があるが、時間外でも相談できる体制の確立と緊急時の対応を考えていく必要がある。

まちづくり推進課

花見校区コミュニティ防災訓練の担当課の支援は

問 花見校区コミュニティ防災訓練において、担当課としてどのように支援するのか。

答 主催は花見校区コミュニティであるが、市の支援として、西部ガス株式会社や福岡トヨタ自動車株式会社などの各種企業や大学に参加を呼びかけている。

問 要支援者、居住外国人に対する訓練は計画に入っているのか。

答 今のところ何かプログラムを組むということは検討していない。

問 防災士の参加協力の状況は。

答 花見校区内の自主防災組織内で、古賀市防災士育成事業補助金によって資格を取得した人の参加を求める予定。

総務課

公共交通について

問 AIオンデマンドバスは、利用方法が簡易であることを説明すれば利用者が増加するのでは。

答 まずは1回乗車してもらい、利便性を実感していただくよう努めたい。電話でも予約可能であることは周知していくが、より利便性の高いアプリからの予約の説明を行う。

問 タクシー事業者の運営について情報収集は行っているか。

答 市内事業者と継続的に協議を行い、運転手不足についての課題の共有や、AIオンデマンドバスの待機時間の課題などについて改善策を検討している。



経営戦略課

文教厚生

委員会

1月23日
26日

委員長	平木 尚子	顧問	奴間 健司
副委員長	伊東 洋子	福崎 トビオ	
		松島 岩太	
		紙谷 由香	

行ってみよう、ひだまり館

問 ひだまり館まつりの目的や効果、周知について。

答 目的は人権課題の認知と啓発、地域住民や周辺住民との交流。隣保事業の報告の場。効果はこのようなことが広がること。

問 周知について。

答 広報こがや市公式ホームページへの掲載、市役所やサンコスモ古賀など市の各施設でのポスター掲示、事業への参加者や関係団体への周知を行っている。

問 スタンドアローン（一人で立つ）支援事業の食料品提供について。

答 合意書を結び、実施期間は1年間であるが、契約終了の意思表示がなければ、更新される。

隣保館

教育現場の状況変化

問 「ドリムステージ」が「夢授業交流会」に変更されるが、新型コロナウイルスが一定程度収束した時には再開するののか。

答 現時点では再開は考えていないが、キャリア教育に関しては各学校の教職員で構成される実行委員会で学校現場の反応や子どもたちの反応を見ながら十分協議し、形を作っていく。

問 教職員の働き方改革の部活動の地域連携に係る中体連との関係は。

答 現在の中体連の状況は中学校単位での大会参加となつてはいるが、全国大会については学校単位でなくても参加できるようになつていくため、今後下部の大会まで変わっていくのではないかと考えている。

学校教育課

古賀北中学校大規模改造

問 地域開放室の安全対策について。

答 予約した利用者のみが利用でき、予約者が誰であるかは生涯学習推進課で把握できる。また、防犯カメラ等の設置を検討中。

問 車いすの人などのスロープの位置について。

答 車いすでもバリアフリーで鍵を開けられるようにアクセスを重視し、ルートを確認。



地域開放室入口スロープ

教育総務課

子育て支援のさらなる強化

問 令和5年4月からの子ども家庭庁発足に伴う、古賀市の状況について。

答 児童福祉分野と母子保健の分野を一体的に扱う機能を持つ、こども家庭センターの設置が市区町村の努力義務となるが、現在の体制は隣り合わせで連携を取っている。今後、体制の中で足りない部分があれば、そこを強化していく。

問 子どもの誕生祝い事業から相談につながるための工夫は。

答 母子健康手帳交付時から校区担当を設け、顔見知りの関係をにつくっている。乳幼児家庭全戸訪問時に専門職が家庭の状況を聞き取り、必要な支援に つないでいる。



子育て支援課

市民建産

委員会

1月19日
30日

委員長 中野 敦史
古賀 誠視 渡 孝二
副委員長 森本 義征
内場 恭子 竹下 司津男

JR千鳥駅東口整備について

問 進捗状況と文化財の発掘調査のスケジュールは。

答 JR千鳥駅東口については、現在詳細設計を進めており、JRや西鉄バスと協議を行っている。発掘調査については、昨年末に試掘を実施し、遺跡が発見されたことから、現在スケジュールを調整中。



建設課

1月3日に発生した高病原性鳥インフルエンザについて

発生の翌日までに殺処分を完了し、1月18日に焼却処分を行い、農場の消毒も完了しているとの報告がありました。

問 鳥インフルエンザの原因や、他の養鶏場への対応は。

答 原因については、県からの公表はなく、把握はしていない。他の養鶏場への影響は移動制限などが一時期はあったが、検査結果で陰性であれば出荷できることから影響はない。

問 卵の値段が高騰しているなどの消費者への影響は。

答 卵の値段の高騰は全国的な鳥インフルエンザのまん延やさまざまな物価高の影響と捉えている。

農林振興課

ふるさと納税について

問 ふるさと応援寄附は大きな伸びを示しているが、イベント時期に即したPR方法などを工夫したとや、ポータルサイトを切り替えた影響があったのか。また3月末での目標寄附額は。

答 ポータルサイトの中で楽天の占める割合が非常に大きく、一番寄附が見込めるところに注力したことが好結果につながった。3月末の目標寄附額は9億5000万円。



商工政策課

千鳥ヶ池公園の見晴らしの丘について

問 防犯のため、公園の除草や樹木の伐採は定期的に行われていると思うが、市民から性犯罪等の相談は届いているか。

答 千鳥ヶ池公園の見晴らしの丘に関して、ご指摘のような相談もあり、樹木の伐採をしている。他の公園においては被害に遭ったという声はないが、不安という声は常にあるため、指摘された場所には職員が出向き、伐採や剪定等の対応を行っている。



都市整備課

特定非営利活動法人

子どもパートナーズHUGっま

1年を通して、「子育て支援事業」「発達支援事業」「研修情報発信」を行っています。

乳幼児の外遊びの広場「おそらのしたで♪」は、古賀グリーンパークピクニック広場で、子どもが自然と触れ合いながら子どもらしく十分に遊べ、大人もその大切さを体感できる場です。保護者同士の情報交換の場として、たくさんの方が参加しています。



発達が気になる子どもと保護者のサロン「ぼかぼかHUGサロン」では、乳幼児から小学生までの発達が気になるお子さんの相談ができ、中高生の居場所としての「♪HUGっこテイーンずたまりんば」では、子どもたちが安心してのんびりと自由に過ごせる時間と空間を確保し、食品や食事を提供しています。ナナメの関係である、さまざまな大人と関わり、子どもたちのありのままを受け止める場

です。全ての子どもたちと関わる人達の笑顔のために「遊ぶ」「学ぶ」「つながる」をモットーに活動しています。



生活の中で見えてくる「子どもに関わるさまざまな課題」にNPO法人ならではの柔軟な動きをもって取り組んでいきたいと思えます。



連絡先 梯 裕子

092-944-6182

第1回定例会の傍聴者は57人でした。ありがとうございます。

第2回定例会は6月13日（火曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



令和5年 古賀市議会第2回定例会の会期日程は、古賀市議会議員一般選挙後に決定されます。詳細は、議会ホームページでお知らせいたします。

注) 会期日程は、議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 (本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



編集後記

議会報編集委員会の仕事も、今期最後になりました。振り返ると、委員の皆さんに助言をもらいながら一言一句を編集する作業。あつという間の4年間でした。

毎回、写真を工夫し、市民の皆さんに分かりやすくということを一番に考えながら取り組みました。コロナ禍で行事等ができない時の表紙は苦戦しながらも、委員みなで知恵を出し、乗り切りました。それも私にとってはいい経験です。読みたくなる市議会だよりをめざして。

(紙谷)

表紙の言葉
 天気にも恵まれて
 清々しく咲いている
 菜の花。さあ、春を
 満喫してみませんか。



令和5年 第1回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和5年2月22日～3月23日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
1	古賀市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	古賀市子ども・子育て会議条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	古賀市附属機関の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	古賀市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	古賀市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	古賀市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	古賀市手数料条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	古賀市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	古賀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	古賀市附属機関の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	古賀市介護予防支援センター条例を廃止する条例	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	令和5年度古賀市一般会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	令和5年度古賀市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	令和5年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	令和5年度古賀市介護保険特別会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	令和5年度古賀市水道事業会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	令和5年度古賀市下水道事業会計予算	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	令和4年度古賀市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	令和4年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和4年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和4年度古賀市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和4年度古賀市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	副市長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	古賀市教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	古賀市議会の個人情報の保護に関する条例	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	古賀市議会の議決すべき事件を定める条例	否決	●	○	-	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順 ■は議員・委員会提出議案

令和5年 第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和5年4月11日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
27	専決処分について(古賀市税条例の一部改正)	承認	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	専決処分について(古賀市国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○	○	-	●	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	令和5年度古賀市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 -は欠席 /は辞職 議員は議席番号順

一部事務組合議会報告

議長 結城 弘明

粕屋北部消防組合議会

令和5年2月2日第1回定例会開催。主なものは、5年度一般会計予算では歳入歳出それぞれ約12億7300万円が計上され、歳出では消防指令システム運用事業費約7000万円と人件費等。各会計賛成全員で可決。



粕屋北部消防本部キャラクター「カスホーク」

北筑昇華苑組合議会

令和5年2月8日第1回定例会開催。5年度一般会計予算では歳入歳出それぞれ約2億8900万円が計上され、賛成全員で可決。

玄界環境組合議会

令和5年2月13日第1回定例会開催。福津市議会の改選で新議員

2名が就任。高齢者部分休業条例制定などを審議。4年度補正予算では約1億2000万円減の約32億7000万円。さらに令和4年度から5年度まで燃料費等高騰による債務負担行為補正が追加提案され、賛成全員で可決。続いて、5年度予算では、歳入歳出約33億2400万円、歳出では古賀工場、宗像工場共に電気料としてそれぞれ約300万円、400万円と大幅増、空調機更新に8200万円、今後の工場の在り方研究に再編推進事業費約3700万円が計上。賛成全員で可決。議員より、今後ごごみ処理の在り方への協議に対する一般質問がありました。

古賀高等学校組合議会

令和5年2月14日第1回定例会開催。主なものは、5年度一般会計予算で歳入歳出それぞれ約8億3200万円が計上され、賛成全員で可決。

陳情

5年陳情2

庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

陳情者 明るい福岡県を作る会

高橋 幸子

5年陳情3

民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情

陳情者

基本的人権・信教の自由を守る

福岡県民の会 代表 奥村 俊雄

(※なお、5年陳情1は、提出後、取り下げられましたので、ありません)

議会事務局紹介

異動

長山 淳 (事務局参事補佐)

兼議事係長兼庶務係長

3年間お世話になりました。

これまでの議会事務局での経験を生かし、新しい配属先でも頑張っていきます。



長山さん (右)

配属

中島 百合子 (事務局参事補佐)

兼議事係長兼庶務係長

円滑な議会運営を補佐できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



中島さん